

二〇二三年度

大東文化大学日本文学会春季大会

■日時 二〇二三年六月二十三日（金）午前十時より
■会場 大東文化大学 板橋校舎 一〇三〇一教室

午前の部（午前十時より）

○開会の辞

日本文学会代表 美留町 義雄

○研究発表

上代	『古事記』『日本書紀』における三輪山と大和朝廷の関係	山口ゼミ	武井 茉日
近・現代	坂口安吾『戦争と一人の女』とGHQの言論統制	滝口ゼミ	山上 出雲
近・現代	ミュージカル『薄桜鬼』論		
	——隊士とヒロインの相補構造を中心に——	木村ゼミ	河内 優希
比較文学・文化	人魚の比較論 ——アンデルセンと小川未明、そして「リトル・マーメイド」	美留町ゼミ	木村 有香
比較文学・文化	梨木香歩『西の魔女が死んだ』の記憶	山田ゼミ	笹本 せな

午後の部（午後一時より）

○研究発表

日本人と「星」 ——『万葉集』から『建礼門院右京大夫集』へ—— 博士前期課程 藤井 志穂

○講演会

「キリシタン資料」に見る中世日本語の姿 文教大学文学部教授 宮武 利江 先生

○総会

○閉会の辞

日本文学会幹事会代表 宍倉 陽向

※大会の終了時間は、午後四時を予定しております。

※今年度も昨年度に引き続き、懇親会は実施いたしません。

※日本文学科の学生は、当日、大会参加をもって授業出席の扱いとなります。